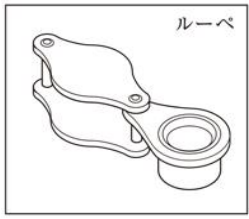


身のまわりの生物

観察・記録のしかた



ルーペで観察するときは

- ①動かせるときは観察するものを動かす
- ②動かせないときは自分（顔）が近づいたり離れたりする

※目をいためるのでルーペで太陽は見ない

スケッチのしかた

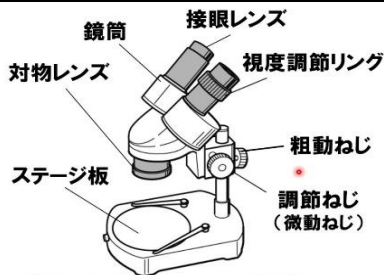
その対象だけを書く

細い線ではっきり書き、影はつけない

レポートのまとめ方

目的	何をどこまで調べるか具体的に
準備	材料や器具、注意点も
方法	何をどのように実験、観察をしたのか 手順も
結果	分かった事実のみを書く 図・写真・表・グラフなども利用
考察	目的に合わせ、結果から分かったことを自分のことばで書く
感想	考察以外に考えたことや新たな疑問・課題など

双眼実体顕微鏡の使い方

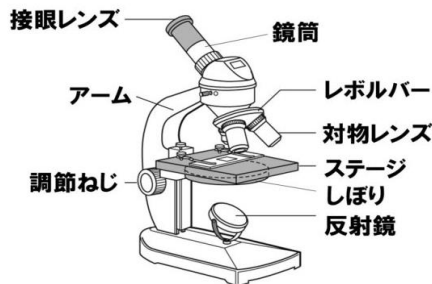


プレパラートをつくらなくても、そのまま立体的に観察できる

分厚いものを観察でき、立体的に見える。

顕微鏡の使い方

顕微鏡



ポイント！ 顕微鏡の使い方

- ①直射日光が当たらない明るい場所
理由)目を痛める恐れがあるから。
- ②接眼レンズ、対物レンズの順に取り付け
理由)鏡筒内にほこりが入らないようにするため。
- ③反射鏡としぼりを使い、明るさを調節
- ④プレパラートをステージにのせる
- ⑤横から見ながら、対物レンズとプレパラートを近づける
- ⑥接眼レンズをのぞいて、対物レンズとプレパラートを遠ざけながらピントを合わせる
理由)対物レンズとプレパラートが接触するのを防ぐため。

顕微鏡の倍率 = 接眼レンズの倍率 × 対物レンズの倍率

倍率が高いと、レンズはプレパラートに近づく

観察を始めるときは低倍率から

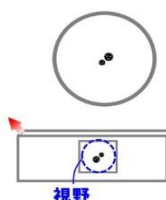
観察したいものや部分が見つかったら、

倍率をあげていく

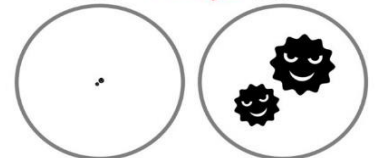
顕微鏡

ポイント！ 顕微鏡の見え方

上下左右が逆に見える！



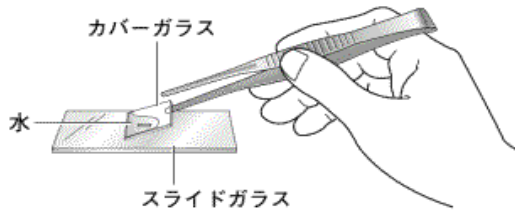
低倍率 → 高倍率



広い 見える範囲 せまい
明るい 明るさ 暗い

身のまわりの生物

水の中の小さな生物



プレパラート

スライドガラスとカバーガラスを重ね
観察できるようにしたもの

作るときの注意

空気の泡（気泡）が入らないように
カバーガラスを片方からゆっくりかぶせる
はみ出した水はろ紙で吸い取る

水中の微生物（例）

これは書けなくてもよい！！

ただテスト前には、見た目と名前はセットで覚えておこう！！



ゾウリムシ



ミジンコ



ミドリムシ



ミカヅキモ



アオミドロ

※その他にも学校で出た
微生物は覚えよう！

動物（動く）

植物（緑色）

ミドリムシは動く→動物

緑色→植物

どちらの特徴も持つ不思議生物だ！！